

令和5年8月10日

竹原市天然記念物

「宿根の大桜」における倒木の発生について

1 内容

竹原市天然記念物「宿根の大桜」（平成26年4月24日指定）について、4本に分かれた株立ちの幹のうち1本が倒木し、樹木医による現地調査を実施したため、その状況と今後の対応について御報告します。

2 倒木の発生について

(1) 発生及び対応の状況

7月30日（日） 管理団体である宿根の大桜保存会が倒木を発見し、翌31日に市教委が現地を確認しました。倒木の発生日時は不明です。

8月7日（月） 樹木医による現地調査を実施しました。

(2) 倒木した部位

根元から40～50cmの位置で4本に分かれた幹のうち、最も北側の幹（直径40～50cm、長さ約15m）が倒れました。

(3) 被害等

倒れた幹から伸びた枝により、大桜周囲の見学路の一部が塞がっていますが、倒木の影響による他の幹の損傷や、人的被害等は確認されていません。

3 現地調査の状況

倒木により割れた幹の内部に腐朽菌が確認されました。表から見えない幹の内部で腐朽が進行し、幹の強度が下がったことで、自重を支えきれず倒木につながったものと推測されます。なお、腐朽部分から他の3本の幹への波及は確認されませんでした。

4 今後の対応

- ・今回倒れた幹は、根元に腐朽していない部分が残っており、枝葉も生きていることから、倒れた状態のまま治療し、幹を残すこととします。
- ・今後、管理団体において腐朽部分の除去を進めるとともに、11月末～12月頃を目途に枯れ枝等、不要な枝の整理を行います。
- ・市内の他の天然記念物の所有者に対し、倒木に関する注意喚起を行って参ります。

【宿根の大桜の概要】

広島県南部では希少なエドヒガンの巨木であり、根元から約40～50cmの位置で幹が4本に分かれた「株立ち」状の樹形が特徴です。

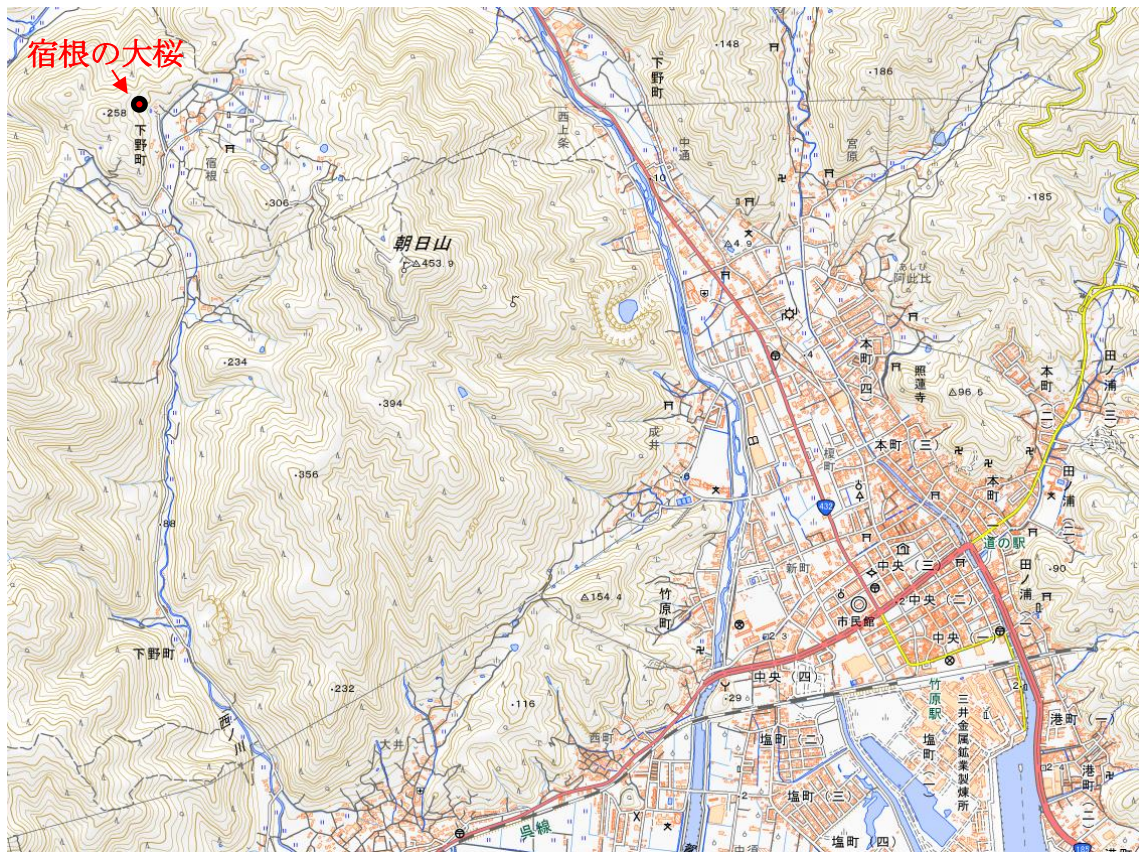
樹齢は150年～200年程度、樹高15m以上、枝張り約19mであり、エドヒガン株立ちとしては県下3番目の大きさとなされ、竹原市において貴重な樹木として、平成26年4月24日に竹原市重要文化財（天然記念物）に指定しました。

問い合わせ

教育委員会 文化生涯学習課 文化財保護係 担当：新潟・三輪

TEL0846-22-2328 FAX0846-22-8460

【地図】



(地理院地図 (電子国土 web))

【写真】



倒木の状況 (宿根の大桜を南側から見る)



倒木の状況（宿根の大桜を東側から見る）



倒木の状況（宿根の大桜を西側から見る）